

2024年 ノース場ホッケ新規加入量調査速報（1）

北海道立総合研究機構稚内水産試験場調査研究部 黒川大智 電話：0162-32-7166

- トロール漁獲物は大型主体
- 魚探調査で観察されたホッケ魚群数は少ない
- ▷0歳ホッケ（ローソクボッケ）来遊が遅れている、または豊度が低い可能性

稚内水試では、毎年10月と11月の2回、稚内ノース場海域（図1）において、試験調査船北洋丸による計量魚群探知機調査と着底トロール調査（原則6回曳網）を実施しています。

本速報では、2024年10月3～5日に実施した第1回調査の結果を示します。

魚探調査結果

- ・北と南の航走ラインで魚群が観察された
- ・観察された魚群数は2で、過去5年で最小

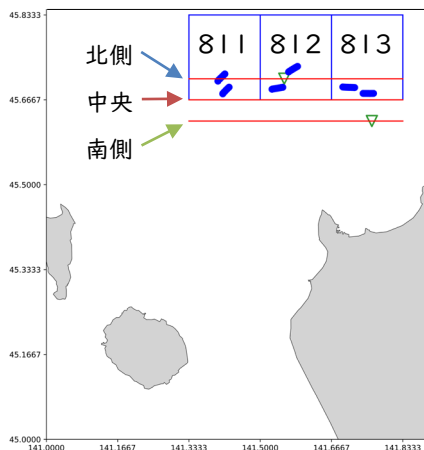


図1. 調査海域

- トロール操業位置
- 魚群観察位置

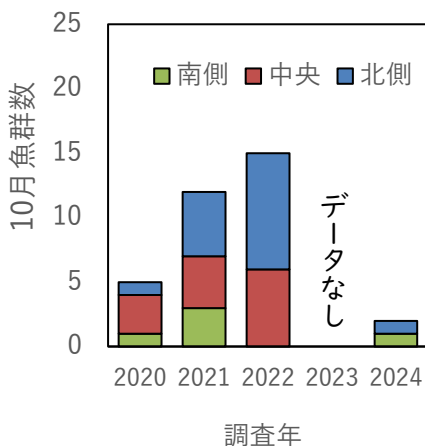
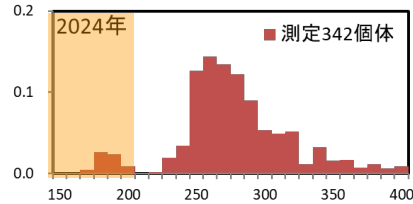
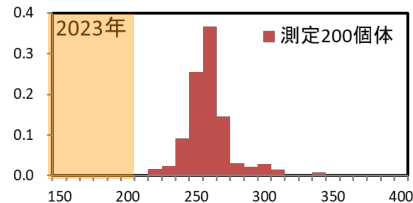
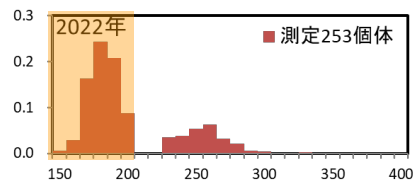
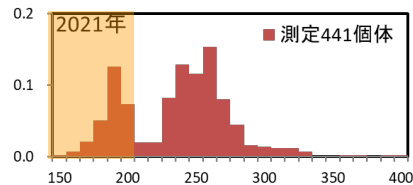
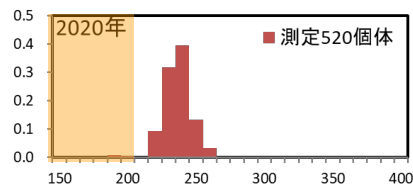


図2. 魚群観察数



体長（mm）

図3. 採集されたホッケの体長組成（縦軸は尾数割合）

トロール結果

- ・すべての海区でホッケの漁獲があった
- ・ホッケの体サイズは例年より大きく、ローソクと判断されるホッケはわずかだった

まとめ

10月調査では、トロール調査におけるローソクボッケの漁獲および計量魚探調査におけるホッケ魚群観察数はわずかでした。この結果から、10月時点のノース場におけるローソクボッケの来遊が遅れているか、2024年級群の豊度が低い可能性が考えられます。ただし、豊度については、11月に実施される2次調査の結果と併せて総合的に判断する必要があります。